

資料提供	
平成23年12月12日	
担当課 (担当者)	通商物流室 (岩下)
電話	0857-26-7661

韓国首都圏鳥取県物産展の開催結果について

鳥取県と財団法人自治体国際化協会ソウル事務所が協力し、韓国で強いブランド力を持つ「新世界百貨店」において鳥取県産品の実演販売等下記のとおり実施しました。あわせて、鳥取県の観光DVDの放映やパンフレット配布などを行い、韓国での鳥取県の知名度アップを図りました。また今後、韓国との食品販売に係る鳥取のブランド確立を目指し、県名商標の出願を行います。

記

1 期間及び場所

11月12日(土)～11月17日(木)	新世界百貨店	京畿店
11月25日(金)～12月1日(木)	"	本店
12月2日(金)～12月8日(木)	"	江南店



2 出展企業及び販売商品

	企業名	所在地	販売商品
1	(有)いけがみ	米子市	みたらし団子、あんこ団子、もなか、梨あん団子
2	(有)あぶい蒲鉾	琴浦町	チーズ串天、野菜串天、いか串天、げそ団子
3	豊田アストリア(有)	米子市	カレー、白ネギスパイシー
4	(株)Trees	鳥取市	ワッフル、チーズケーキ
5	(株)澤井珈琲	境港市	氷温コーヒー 他
6	(株)はりまや	米子市	こんにやくソーメン、三角こんにやく
7	E G Aインターナショナル ディングス(株)	境港市	べにずわいミート
8	泊総合食品(株)	鳥取市	らっきょう漬
9	丸京製菓(株)	米子市	どら焼き、もなか、蒸まんじゅう、まんじゅうセット
10	(株)越河	米子市	えびグラタン、かにグラタン

上記1～6の出展企業は実演販売を実施。

3 成果

- ・8月に米子で開催した商談会に新世界百貨店のバイヤーを招へいし、あらかじめ売れそうな県産品の目利きや韓国市場向けの商品づくりに関するアドバイスを受けることにより、入念な準備ができた。
- ・一部の商品は物産展の中途段階で売り切れるなど売れ行きは好調だった。初めて海外での販売を行った県内企業からは、「韓国の消費者の嗜好を実際に確認することができたとともに、韓国のバイヤーと売り場でコミュニケーションしながら商品改良の方向性も見出せた。これから韓国市場での取り組みを継続的に行っていきたい。」とのことだった。
- ・物産展の結果についてバイヤーは、「江南店のイベントブースの1日当たりの売上げ実績は100万円弱。現在の円高と東日本大震災後初めての日本商材の物産展であることを考慮すれば、まずまずの成果。」と分析。
- ・新世界百貨店のバイヤーはDBS航路の迅速性など優位な点に着目。このたびの物産展で販売する商品をほぼ全量買い取り、DBS航路を利用して韓国に輸入。今後の航路利用についても積極的な姿勢。

4 課題

- ・韓国と日本では食味の感じ方が異なるので、嗜好に合わせた改良も必要。韓国人に馴染みのない食材については美味しく食べてもらうための調理方法の説明も重要。
- ・冷凍での流通が主体となるため、自然解凍でも食味が安定した商材を取り揃える必要がある。また、賞味期限が3ヶ月以上なければ海外バイヤーに受け入れてもらえないため、賞味期限が長くても味を落とさない商品開発が重要。
- ・商品種類ごとによく売れる価格帯が存在する。その価格帯に合わせた商品ラインナップが必要。